2　地理歴史・公民

学校番号	303

令和２年度　公民科

教科	地理歴史	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「倫理」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・青年期の課題と人間のありかたについて、おもに古今東西の諸思想の学習を通して理解と思索を深める。
・自己の確立をめざして、人間の尊厳について倫理的な観点から学ぶ。
・現代社会の倫理的な課題について主体的な思考と公正な判断の能力をつちかう。

2　学習の到達目標

・国際社会における様々な倫理観、価値観に触れることで物事に対して多角的な視点を持たせる。時事問題も活用し、事象に対して客観的な自分の意見を持つことができるようにする。グループ活動などを通して生徒同士の活発な意見交換を行う。基礎的な事柄については知識を習得できるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の推進と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成についての関心を高める。これにかかわる諸課題を探求する態度をやしなう。	人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し、良識ある公民として広い視野に立って主体的に判断できる力をつける。またその過程を様々な方法で表現できる能力をやしなう。	文献・原典を読み込むとともに、メディアを通じて有用な資料を収集できるようにする。インターネットの活用をはかる。	倫理的な課題についての基礎的な知識を系統的に理解できるようになる。
評価方法	授業態度の観察 記述の点検（ワークシート等）	グループワークの評価	記述の点検（ワークシート等） 定期考査	記述の点検（ワークシート等） 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期と古代思想	・青年期の意義 ・青年期の課題 ・ギリシア思想 ・キリスト教	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○	a 青年期の意義を意欲的に探求しようとしている。またギリシア哲学・キリスト教で説かれた基本的な課題を自己の生きかたのかかわりにおいてとらえ、意欲的に探求しようとしている。 b 青年期の意義・課題を多面的・多角的にに考察し、適切に表現しようとしている。ギリシア哲学、キリスト教における課題についても同様である。 c 青年期・ギリシア哲学・キリスト教に関する資料を収集し、適切に選択して活用できる。 d 学んだことがらを自己の課題とつなげて理解し、その知識を身につけている。(定期考査)	ワークシート 定期考査

2学期	古代思想	・イスラーム ・仏教 ・中国　儒家の思想 ・中国　老荘の思想 ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・日本の朱子学 ・日本の陽明学 ・国学の形成 ・幕末の思想 ・西洋思想の受容と啓蒙思想	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a イスラーム・仏教・中国の古代思想について人間のありかた生きかたにかかわる課題として意欲的に探求しようとしている。また、日本の古代のものの見方・考え方、日本において独自の発展をした仏教の特質、近世日本における儒教の受容のありかたと独自の思想が発展した経緯、西洋思想受容と日本の近代化とのかかわりなどについて関心を深め、意欲的に探求しようとしている。 b イスラームとキリスト教の共通点と相違点を多面的・多角的に考察しさまざまな方法で表現しようとしている。古代日本のものの見方・考え方についても同様である。仏教思想の発展と変容をさまざまな方法で表現しようとしている。近世日本における儒教思想と社会形成との関わりを表現しようとしている。日本の近代化における課題をさまざまな方法で表現しようとしている。 c 現代社会におけるイスラーム思想のもつ意義などに関する情報を収集し、適切に選択して活用できる。古代日本人の自然観・宗教観についても同様である。仏教思想が日本人の自然観・生活等に及ぼした影響を資料収集し適切に活用できる。儒教の受容・発展させた日本人の考え方についても同様である。西洋思想の受容についても、同様に活用できる。 d イスラームの考え方を自己の課題とつなげて理解し身につけている。仏教・日本の諸思想についても同様である。(定期考査)	定期考査 ワークシート

3学期	現代につながる思想	・経験論と合理論 ・カント ・ヘーゲル ・功利主義 ・プラグマテイズム ・フロイト ・正義論（ロールズなど） ・現代の課題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a 近代自然科学誕生の積極的な意義を意欲的に探求しようとしている。民主社会が形成されることの積極的な意義を意欲的に探求しようとしている。 b 近代自然科学が発達した意義を多面的・多角的に考察し、さまざまな方法で表現することが出来る。 c 経験論と合理論に関する資料を収集し、適切に活用できる。民主社会と自由について言及した哲学者たちの資料を収集し、適切に活用できる。 d 自然と人間の関わり、科学技術発達の意義魏や問題点を理解し身につけている。民主社会の基本原理や自由についての考え方を理解し、その知識を身につけている。（定期考査）	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇をつけている。